

社会福祉法人 日本盲人福祉委員会
令和3年度事業報告
(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

第1章 社会福祉事業

1 法人本部

(1) 理事会

①第105回理事会

期 日：令和3年6月8日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和2年度事業報告及び同決算報告、評議員交代

②第106回理事会

期 日：令和3年6月29日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：理事長・常務理事の互選

③第107回理事会

期 日：令和3年11月29日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和3年度社会福祉充実計画の承認

④第108回理事会

期 日：令和4年3月17日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和3年度補正予算(案)

令和4年度事業計画(案) 同予算(案)

(2) 評議員会

①第89回評議員会

期 日：令和3年6月29日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和2年度事業報告及び同決算報告、理事の選任

②第90回評議員会

期 日：令和3年12月20日

場 所：日本視覚障害者センター、オンライン

主な議題：令和3年度社会福祉充実計画の承認

③第91回評議員会

期 日：令和4年3月28日
場 所：日本視覚障害者センター、オンライン
主な議題：令和3年度補正予算(案)
令和4年度事業計画(案) 及び同予算(案)

(3) 監事監査

期 日：令和3年5月17日
場 所：日本視覚障害者センター

(4) 評議員選任・解任委員会

期 日：令和3年6月8日
場 所：日本視覚障害者センター
新 任：本間清郷、丹野哲也、栗原勝美、三宅隆
退 任：酒井久江、相賀直、和久田哲司、佐々木宗雅

(5) 各種会議

①愛盲シール委員会

・ 第1回委員会

期 日：令和3年6月18日
場 所：日本視覚障害者センター、オンライン
主な議題：2021-2022 シールデザイン、福祉助成金募集要綱確認

・ 第2回委員会

期 日：令和4年1月31日
場 所：オンライン
主な議題：シール製作、寄付、福祉助成金交付状況報告、次年度方針

②福祉助成金審査委員会

期 日：令和3年12月15日
場 所：日本視覚障害者センター

2 助成事業

2-1 第64回 愛盲シール運動

今年度も季節の花等をあしらったシールを製作し、全国の登録会員、協力団体・施設、盲学校等へ頒布した。手数料等の料金が値上がりし、経費を圧迫していることから登録会員については過去5年間に寄付の実績のあった4,079件に限定して送付した（前年度は5,739件）。本人逝去、高齢のため退会、転居先不明などの削除対象は80件だった（前年度は341件）。

<愛盲シール寄付件数・金額>

	令和3年度	令和2年度
件数：	2,306件	2,663件
金額：	7,355,700円	10,690,065円

（令和2年度は1個人より300万円の大口寄付があった。）

<団体分担金>

	令和3年度	令和2年度
日視連	538,000円	667,500円
日盲社協	270,000円	300,000円
盲学校長会	318,150円	319,850円
合計	1,126,150円	1,287,350円

2-2 福祉助成金

令和3年度の福祉助成金申請は7月20日～9月30日まで募集し、54団体から総額7,535,000円の申請があった。申請団体は昨年度より1団体増え、申請総額は若干減少した（昨年度は7,715,000円）。実績と申請内容を検討し、54団体すべてに対し、総額5,170,000円の支給を決定した。令和2年度に支給した事業のうち新型コロナの影響により中止5件、変更5件、延期1件の変更届を受け付けた。

<令和3年福祉助成金>

	令和3年度		令和2年度	
① 施設の改善・備品等の購入	9件	500,000円	11件	1,380,000円
② 会議・講演会・研修	18件	2,185,000円	17件	2,030,000円
③ 出版・啓発活動	17件	1,720,000円	12件	630,000円
④ 調査・研究	3件	420,000円	4件	430,000円

⑤ 文化・スポーツ	7件	345,000円	8件	355,000円
合計	54件	5,170,000円	52件	4,825,000円

3 社会福祉充実計画

平成31年度決算に基づく社会福祉充実計画は、令和元年度決算に基づき3年4月に終了申請を行い承認されたが、厚生労働省の指導のもと、2年度決算に基づき、次の4事業からなる新たな社会福祉充実計画を提出し、4年2月3日に承認された。

- (1) 職員資質向上研修事業
- (2) 職員労働条件改善事業
- (3) 大災害被災視覚障害者支援事業
- (4) 視覚障害者に対する的確で有効な情報提供の在り方に関する調査事業

第2章 公益事業

1 情報収集及び提供事業

1-1 WBU 事業

(1) 第10回WBU（世界盲人連合）総会への参加（オンライン）

①第10回WBU-ICEVI 合同総会

期 間：6月21日～30日（役員選挙は22-23日）

登 録：国家代表8名中6名（2名委任状）

役員選挙の結果、次の通り新役員（2021-2025）が決まった。

会 長	マーティーン・エイブル-ウィリアムソン（ニュージーランド）
第1副会長	フェルナンド・リアーニョ（スペイン）
第2副会長	ヤオ・オフォリ・デブラ（ガーナ）
事務局長	ディアナ・ステントフト（デンマーク）
財 務	ダイアン・ベルジェロン（カナダ）

②WBUAP 総会への参加（オンライン）

期 日：6月26日

2期9年間代表を務めた田畑評議員が任期満了により退任し、武井徹国家代表がWBUAP地域代表執行委員に選出された。

AP 会長（1名）	リ・ケイチュウ（中国）
副会長（1名）	ホセ・M・ロブレド Jr（フィリピン）
事務局長（1名）	ジェyson・ホ（香港）
会 計	未定

WBU 執行委員会 地域代表（3名）

ヘレン・フレリス（オーストラリア）

ナンタヌート・スワンナウット博士（タイ）

武井徹（日本）

(2) 第 15 回 WBUAP（世界盲人連合アジア太平洋地域協議会）

マッサージセミナーの開催

期 間：9月 24 日～25 日（オンデマンド 9月 27 日～10月 31 日）

会 場：オンライン（配信会場 東京都盲人福祉協会会議室）

参 加 者：WBUAP 加盟諸国を含む 17 개국から 688 名の登録があり、2 日間で 650 名、国内からは個人参加に加え、国内各地の盲学校の授業の一環として視聴された。

(3) 海外視察団の受け入れ

新型コロナの影響に伴う渡航制限により、来日視察団の対応はなかったものの、欧州の携帯電話会社から新製品開発に伴う被験者の紹介を委嘱されたので都内の NPO に依頼して被験者を紹介し協力してもらった。

(4) 国際活動に関する情報提供

ロシアのウクライナ侵攻に伴う視覚障害者の状況について情報収集し、対応した。

(5) WBU 会費及びその負担の在り方に関する検討

第 10 回 WBU 総会において「組織の財務的持続性の強化に向けて」と題して最新の指標に基づく会員区分の見直し及び財源の効果的な配分の検討を提案し、決議案の一部として採択された。

1-2 生協助成事業

生活協同組合からの助成を受けて、本章 1-1. WBU 事業(2)記載の第 15 回 WBUAP マッサージセミナーを開催し、報告書（日・英）、DVD（日・英・中）を作成し、関係団体等に配布した。

また下記 1-4. 災害対策事業（2）記載の災害時視覚障害者支援員研修教材を①基礎編（18 講座）②ステップアップ編（3 講座）、③コーディネーター・後方支援編（2 講座）について動画とテキストを作成し、登録支援員及び全国の盲学校、日視連関連団体、日盲社協加盟の自立支援施設、全視情協加盟団体等に配布した。

1-3 点字誌出版受託事業

「自由民主」点字版（活字併用）101号～104号を発行した。

1-4 災害対策事業

(1) 被災視覚障害者支援対策事業

令和4年3月16日発生の福島県沖を震源とする地震（震度6）などML等で被災情報を収集した結果、緊急対応が必要な被害はなかった。

(2) 災害時における視覚障害者の支援体制構築に関するプロジェクト事業

被災視覚障害者の支援活動を行う支援員の登録更新、追加募集を行い、登録支援員等を対象にステップアップ研修（オンライン）を行った。

期 日：令和3年12月19日

参加者：24名

2 啓発広報事業

2-1 啓発事業

(1) ニュースレター（日盲委会報）の作成・発行

第78号（令和3年9月号）及び第79号（令和4年3月号）を各1,500部発行し、配布した。

(2) 「盲人のための国際シンボルマーク」の普及広報活動及び管理

自治体の障害福祉課、視覚障害者団体、民間企業等、58件の申請があり、審査のうえ承認した。

(3) 共催事業

① 「第51回朗読録音奉仕者感謝の集い」 鉄道弘済会

式典は中止、日本視覚障害者センター研修室で表彰式のみ行った。

② 「第58回点字毎日文化賞」副賞の授与 点字毎日

令和3年11月13日 藤野高明氏

③ 点字考案200周年記念事業 第1回記念講演会&シンポジウム

令和4年3月19日

第1部 記念講演「韓国点字法に学ぶ—立法経過とその後の状況—」

第2部 シンポジウム「これからの点字への期待—新たな輝きを求めて—」

(4) 各種行事への後援及び協賛

① 第74回全国盲人福祉大会 (日視連) 後援

令和3年5月24日（岡山県倉敷アイビースクエア・オンライン）

② 第69回全国盲人福祉施設大会 (日盲社協) 後援

令和3年11月11日（オンライン）

- ③ 第18回本間一夫文化賞 (日本点字図書館) 後援
令和3年11月13日
- ④ 第36回全日本視覚障害者柔道大会(全日本視覚障害者柔道連盟) 後援
令和3年11月28日(東京・講道館)
- ⑤ 第19回オンキョー点字作文コンクール(日本教育研究所ほか) 後援
- ⑥ 2021年度「道路ふれあい月間」(国土交通省) 協賛

2-2 視覚障害者選挙情報支援プロジェクト事業

- (1) 令和3年10月31日に実施された第49回衆議院議員総選挙及び最高裁判所国民審査において視覚障害者用「選挙のお知らせ」点字版78,073部、音声版63,302部、拡大文字版10,730部の総計152,103部を製作、発行した。
なお、東京都内の誤配事故が発生し、原因探求と再発防止策について特別委員会を開き、その結果を東京都選管の関係者に報告した。
- (2) 選挙公報の点字版・録音版、拡大文字版作成のための事務局会議及び研修会を各部会で行った

2-3 地域貢献活動の実施

- (1) 新宿区内社会福祉連絡会への参加
新型コロナウイルスの拡大により、活動はオンラインで情報交換が行われた。
会を通じて企業からの消毒液、除菌シート等の提供を受けた。
- (2) 日視連フェスへの参加
昨年度に引き続き本年度も開催中止となった。